



令和5年度 学校だより 2月号

なかお



第453号

令和6年1月25日

発行者 横浜市立中尾小学校

校長 廣瀬 ユミ

<https://www.educity.yokohama.lg.jp/school/es/nakao/>

## 未来を切り開く力 ～中尾町〇〇公園建設にむけて～

副校長 早坂 考史

先日、2年生が生活科の学習の一環として地域探検している最中に、学校の近くの神奈川県警察運転免許センター講習コース横の空き地で作業している方々と出会いました。何をされているのか話しかけてみると、その方たちは横浜市の職員で、今度この空き地にできる「(仮称)中尾一丁目公園」の下調べに来ていることが分かりました。自分たちの学校の近くに新しい公園ができることを知って興奮する子どもたち。もっと詳しく話を聞きたいということで市の職員の方を学校にお呼びすることになりました。学校でのやり取りを通して、自分たちも新しい公園づくりに関わりたいという思いをもち、公園の名称の決定と設置する遊具の選択に関わることができるようになりました。

現在は、「中尾町〇〇公園」の〇〇にふさわしい言葉について代表委員会を通して全校で検討している最中です。みんなで名前を考えた公園が出来上がるのが今から楽しみです。

偶然の出会いから地域への理解と愛情を深めることができる学習内容ですが、もちろん全てが偶然なわけがなく、この出会いのために担当教諭が横浜市環境創造局や旭土木事務所の職員の方と何度も打ち合わせを重ね、連合町内会をはじめとする地域の方々のご理解を得て初めて実現したものです。しかし、決して学習内容を教諭が押し付けるのではなく、子どもの思いからスタートさせる。そこには普段から子どもたちのことをよく理解し、思考を想像し、思いを実現させていくための過程を用意する必要があります。まさに教諭の腕の見せ所です。

小学校で行う学習では、国語や算数といった基礎基本の力だけでなく、将来の社会の担い手となるための公共心や地域への愛情、社会参画するための心情も育成していかなければならないと考えています。未来を切り開いていく力こそが、これからの時代に必要な力だからです。地域の旬の教材を取り上げ、子どもたち一人一人が未来を創る創造力を磨き、やがて地域に還元していけるような循環を目指していきたいものです。